

JA全農とちぎ 公式SNS一覧

だちつでとちぎ by JA全農とちぎ LINE

とちぎの農畜産物のおすすめ情報をお届けします！
お得なクーポンや
キャンペーン情報なども
配信中！



だちつでとちぎ by JA全農とちぎ Instagram

栃木県産の食材の
こだわりの美味しさを
「#たちつでとちぎ」の
合言葉とともにご紹介
します♪



**JAグループ栃木
担い手サポートセンター** LINE

とちぎの生産者向け
のお役立ち情報をお届け
します！
防災メールや各種情報を
タイムリーにチェック!!



**とちぎの花
zennoh tochigi flower** Instagram

とちぎのお花の生産者や
販売店・イベント情報や
季節のお花などを紹介！



**JA全農とちぎ
栃木米** Twitter

栃木米に関する情報や
ごはんに合うレシピ、
産地の今を発信！
栃木米の魅力をお届け
します！



もぐもぐごはん部 Instagram

ごはんにあうレシピや
もぐもぐごはん部での活動
など、栃木米に関する情報
を発信します！



**JA全農とちぎ
生活情報発信室** Twitter

Aコープマーク品や
JAふれあい食材の商品、
イベントなど日々の
生活に役立つ情報を
発信します！



**JA全農とちぎ
生活情報発信室** Instagram

Aコープマーク品や
JAふれあい食材の商品、
イベントなど日々の
生活に役立つ情報を
発信します！



**JA全農とちぎ
公式Youtubeチャンネル**

レシピ動画やPR動画など、
とちぎの農産物に関する
様々おすすめ
動画を発信！



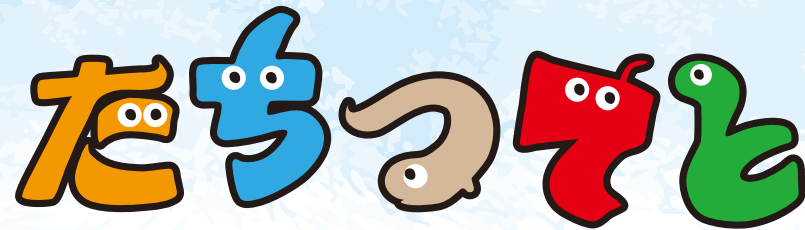

**全国農業協同組合連合会栃木県本部
(JA全農とちぎ)**
URL: <https://www.zennoh.or.jp/tc/>



「たちつてとちぎ」に栃木のおいしさの ヒミツが隠されている！

収穫量日本一を誇る「いちご」をはじめ、全国に誇る栃木県産農畜産物の安全性やおいしさをPRするためのキャッチコピー「たちつてとちぎ」。

日照量の多さや首都圏に近い立地、まじめな栃木県人の気質、手間ひまかけた栽培育成、これらの旬のものを鮮度のよいままお届けできる栃木県産農畜産物の魅力。とちぎの元気を作る“4つのチカラ”を誰にでも馴染める言葉でメッセージにしました。



たいようさんさん

ちかくてしんせん

つくりてまじめに

てしおにかけてる

とちぎの農畜産物



全農グループ経営理念

私たち全農グループは、
生産者と消費者を 安心で結ぶ懸け橋
になります。



私たちは「安心」を
3つの視点で考えます。

- ◆ 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- ◆ 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- ◆ 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

栃木県本部 2030年全体ビジョン

この度、本県の農業情勢や営農実態等を踏まえ、現行の10年ビジョンを刷新し、新たに「栃木県本部2030年ビジョン」を策定しました。生産振興・販売力強化、未利用・低利用農家や大規模農家等への対応強化、新たな事業領域の拡大などを通して、新ビジョンの実現を目指します。

専門性と総合力を発揮し、 活力ある「産地とちぎ」を未来へつなぎます！

- 私たちは、生産者・JAと共に、農業生産基盤の維持・拡大に挑戦します。
- 私たちは、変化する需要を的確に捉え、更なる販売力強化を実践します。
- 私たちは、環境保全型農業を推進し、豊かな地域社会の実現に貢献します。

中期計画(令和4～6年)にかかる全体戦略 6つの柱

2030年の全農グループのめざす姿として「持続可能な農業と食の提供のために“なくてはならない全農”であり続ける」と定め、以下の6つの全体戦略に取り組むこととし、これらを着実にすすめています。

①生産振興

多様な労働力確保などの担い手支援強化やTAC活動強化による生産者との関係深化、革新的な技術による生産性向上をすすめるとともに、地域資源の活用を通じ、持続可能な農業経営を支援します。

②食農バリューチェーンの構築

多様化する消費者ニーズに対応した産地への生産提案や新たな事業展開、国産農畜産物の適正な価格形成・消費拡大に向けて、実需者・消費者の理解醸成に取り組むことで、生産者所得の向上に貢献します。

③海外事業展開

海外ニーズをふまえた商品開発や実需者との連携などにより国産農畜産物の輸出拡大に取り組み、さらに集荷網の拡充やサプライチェーンを構築することで国内生産基盤の維持につとめます。

④地域共生・地域活性化

地域のくらしや自然を守り、地域経済の活性化を支援するため、組合員サービスの充実、「地産地消」のネットワークづくりに取り組むとともに、地域のインフラ維持にも取り組みます。

⑤環境問題など社会的課題への対応

農業における環境負荷低減や地域循環型農業の実現に向けて、総合的・段階的な環境調和型農業の取り組みを支援するとともに、脱炭素化社会の実現に向けて、再生可能エネルギーの開発等に取り組めます。

⑥JAグループ・全農グループの最適な事業体制の構築

日々変化する事業環境に柔軟に対応するため、全農グループの経営資源や事業体制の最適化をめざします。さらに安定的な経営に向け、グループ全体のガバナンス強化にも取り組みます。

県本部長 あいさつ



全農栃木県本部の2023年度事業案内の発行にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。
栃木県は、大消費地である首都圏の北部に位置し、平坦で広い農地、豊富な水資源、穏やかな気候など、農業にとって素晴らしい条件に恵まれています。立地条件に加え、農業者の優れた技術により、収穫量半世紀以上連続日本一のいちごをはじめ、とちぎ米、とちぎ和牛など全国に誇れる農畜産物を生産しています。

さて、コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻、世界的規模での自然災害や家畜疾病により、食糧自給率や食料安全保障の重要性が改めて見直される中、農業生産の現場では生産者の高齢化や農業就業人口の減少に歯止めがかからず、労働力不足への対応が急務となっています。さらに、肥料や飼料、燃料などの各種生産資材価格が高止まりし、農家組合員は依然として厳しい経営環境におかれています。

一方、消費の現場では、eコマースや宅配の拡大、環境問題に対する意識の高まりなど、消費者の食に対するニーズが多様化しています。また、本年5月に新型コロナウイルス感染症が感染法上の5類に引き下げになったことから、社会・経済活動が徐々に動き出しており、インバウンド需要や外食産業等の復活が期待されています。

このような事業環境の変化に対し、栃木県本部としては農業生産基盤の維持・拡大を一丁目一番地として、多様な労働力支援や担い手への対応強化、生産拡大や品質向上に向けた革新的技術の普及・活用、生産性向上やコスト低減など最適な生産に向けた提案

に積極的に取り組んでいます。また、SDGsやみどりの食料システム戦略を踏まえた「グリーンメニュー」の実証・普及に取り組み、社会的責任を果たしてまいります。

とくに、高止まりする肥料の対策としては、安価なBB肥料や国内資源である堆肥を活用した肥料の開発・提案、土壌診断やAIを活用した栽培管理支援システムの導入提案にもとづく適正施肥の推進を強化いたします。また、農業機械においても、共同購入コンバインやブロック域での共同仕入れなど、生産コストの削減に一層努めてまいります。

さらに、「とちぎ米広域集出荷センター」の活用や「総合物流センター」を核とした県域物流の効率的運営、「農機事業一体運営」といった拠点型事業の強化による流通コストの削減やサービス向上を実践いたします。

販売面では、適正価格の実現に向けて、取引先や消費者の理解醸成に取り組むとともに、米や青果物の契約販売や実需者への直接販売の拡大、「とちぎ食肉センター」を起点とした牛・豚の集荷・販売の拡大、そして米やいちご・梨・とちぎ和牛の輸出促進を進め、販売力強化による生産者手取りの向上に努めてまいります。また、生産振興とJAグループへの結集による販売拡大に向けて、「たちつとちぎ」を合言葉とした産地とちぎのブランドの確立を図ります。

なお、栃木県本部としては、全農グループのめざす姿として掲げた「持続可能な農業と食の提供のためになくなくてはならない全農であり続ける」ことの実現に向けて、今次中期計画に加えて「栃木県本部2030年ビジョン」を策定し、令和5年度から実践を開始しました。ビジョンの実践を通して、活力ある「産地とちぎ」を未来につないでまいります。

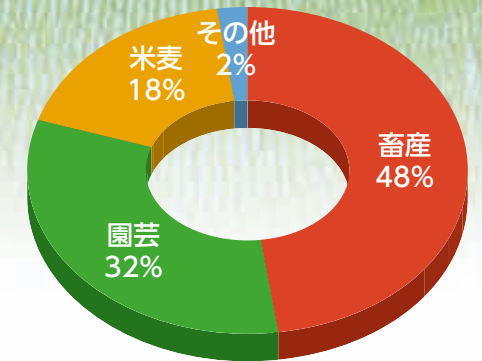
結びに、私たち全農栃木県本部は、JAグループの総合力を結集し、急激なスピードで変化する生産・流通・消費動向に適応し、すべては農家組合員のためにという基本姿勢のもと、JAと一体となって持続可能な農業と地域社会の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

全国農業協同組合連合会栃木県本部 県本部長 中村 昌文

栃木の農業の概略

農業産出額 全国 8兆8,600億円
栃木県 2,693億円(全国9位)
2021年(令和3年)

栃木県の主な農産物
いちご 全国1位
二条大麦・にら・生乳 全国2位
梨 全国3位



栃木県の農業産出額の割合

本会の取り扱う主な農畜産物

園芸

【いちご】



- とちおとめ
- スカイベリー
- とちあいか

半世紀以上にあたり
収穫量全国1位を獲得!

【梨】



- 幸水
- 豊水
- にっこり梨

「幸せ、豊かに、にっこり」が合言葉!
旬が分かる品種リレー!

【野菜重点5品目】



- トマト
- なす
- ねぎ
- にら
- きゅうり

大消費地への近さを生かして、
新鮮な野菜をお届けします。

米



- 県産コシヒカリ「とちほのか」
- なすひかり
- とちぎの星
- 県産コシヒカリ「栃乃プレミア」
- 県産ブレンド米「穂のキセキ」

豊かな自然が育んだとちぎ米。
米どこの産地として
美味しさと安心をお届け!

畜産



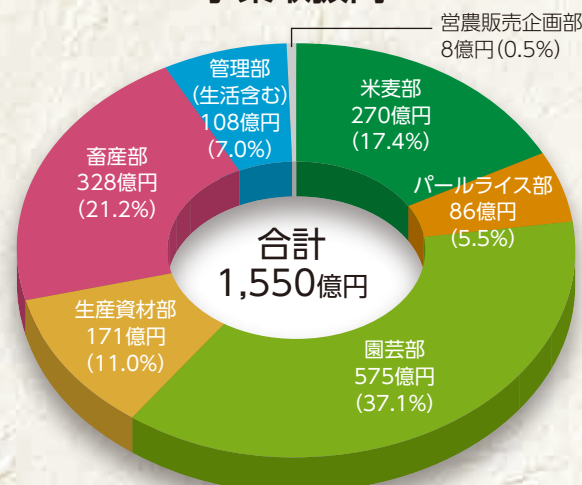
- とちぎ和牛
- とちぎ霧降高原牛
- 日光高原牛
- とちぎゆめポーク

県内の指定生産者が
ごだありと誇りを持って
育てています。

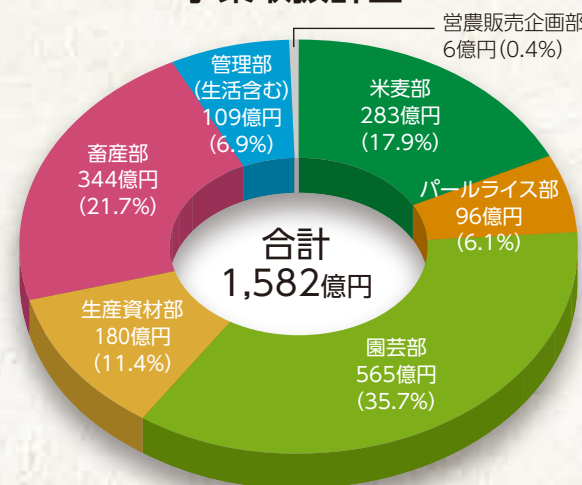


JA全農とちぎの取扱高

令和4年度 事業取扱高



令和5年度 事業取扱計画



販売部門の部門横断的企画業務や消費宣伝活動、ネット通販事業を担う「総合販売企画課」、省力化技術等の提案や支援、新規就農や労働力確保、水田活用作物の提案を行う「担い手支援課」の2課で構成され、県産農畜産物のファン獲得と農業生産基盤の維持・拡充に取り組んでいます。

各課の紹介

総合販売企画課

統一のキャッチコピー「たちつとちぎ」の総合窓口、SNS等を活用した県産農畜産物の消費喚起、ネット通販JAタウン「とちぎ新鮮倉庫」の運営

担い手支援課

担い手への生産・営農・経営に係る支援や提案、水田をフル活用した高収益作物等の提案・実践、新規就農支援



多様な担い手に寄り添ったサポートを

担い手支援課
高久 大河 (2019年入会)



担い手支援課では、担い手の抱える多様なニーズに応えるべく、省力化技術、スマート農業の導入、新規就農者支援、水田を活用した露地野菜の提案等を通じた**生産基盤の維持拡大と担い手への支援**に取り組んでいます。また、ジュース用トマト・玉葱・馬鈴薯などの業務・加工用野菜を中心に、生産拡大と販路開拓に向けた取り組みを行っています。

その中で私は、ジュース用トマト・ニンジンの品目担当として、作付け推進から販売までの業務を一貫して行っています。具体的には、新規生産者の獲得に向けた県内生産者への提案や圃場見学会の企画・開催、生産現場や販売先のニーズを考慮しながら出荷条件の調整などを行っています。

生産者や販売先など、**幅広く関わりを持つことができる**点にやりがいを感じます。生産者やJAに寄り添い、柔軟性を持って日々の業務に励んでいます。



生産者の手取り最大化に向けて

米穀課
川上 大地 (2020年入会)



私の所属する米穀課は、県内外の卸会社に向けた米穀(主食用米)の販売やうるち米・もち米・酒米の精算業務に加え、とちぎ米を多くの消費者に知っていただくため、広告宣伝業務も行っています。

その中で私は、販売先へお米を納品するためのトラックを手配する受渡業務や、受渡業務を円滑に行うために県内JAに在庫しているお米を大きな倉庫に集める米穀(主食用米)の集約業務を担当しています。

また、お米を販売した時に発生する代金や運賃を**共同計算**によって管理する業務を行っています。

日本の社会情勢の変化に伴い、お米の需要も変化しています。少しでも**生産者の手取りを確保**できるよう、日々の業務に取り組んでいます。



米の消費が減少する中、産地としての信頼と品質向上のため、消費動向や実需者の要望に合わせて、とちぎ米の取引拡大・生産体制の確立に取り組んでいます。麦・大豆では、生産者の安定収入確保に向けて、用途別品種の生産提案や加工適正に優れた有望種の生産拡大を進めています。また、産地交流も積極的に実施し、米・麦・大豆の生産者と消費者の顔が見える活動も行っています。

各課の紹介

米穀課

米穀(主食用米)の販売、うるち米・もち米・酒米の精算業務、とちぎ米の広告宣伝

米麦総合課

米穀(主食用米・水田活用米穀)の集荷・生産振興に係る業務、農産物検査員の育成、とちぎ米広域集出荷センターの運営

農産課

ビール大麦・民間流通麦・大豆・小豆・米麦種子・大豆種子の生産振興・集荷・販売に係る業務、種子・包装資材等の供給



栃木県内の生産者が大切に育てたお米の仕入れ、精米、商品の販売までを手掛けている部署です。販売先のニーズに合わせた商品の提案や、“とちぎ米”のブランド浸透を図るパールライス販売課、原料玄米の仕入管理や受渡業務を担うパールライス業務課、原料玄米の精米・品質管理を担うパールライス製造課の3課から成ります。

各課の紹介

パールライス販売課

とちぎ米の量販店・業務用需要者等への販売

パールライス業務課

原料の仕入れ・管理、受渡

パールライス製造課

精米工場の運営・管理



安全安心で美味しい “とちぎ米”をお届けします！

パールライス販売課
海老原 秀我(2022年入会)



私の所属するパールライス販売課では、とちぎ米をより多くの消費者にお届けするため、品質にこだわった安全・安心で美味しいお米を大手外食チェーン・量販店等へ販売しています。**精米販売**はもちろん、**更なる販売拡大**に向け、認知度向上を目的とするイベント・キャンペーン等の販促活動などにも取り組んでいます。

その中で私は、担当量販店のバイヤーと定期的に商談を実施し、チラシ計画の検討や売り場棚割りの作成、新商品の提案などを行っています。また、量販店・飲食店に向けたキャンペーンの提案や販促物の作成、県内外における新規取引先の開拓等を行っており、とちぎ米の特徴や魅力をPRしています。

栃木の生産者を応援するために、とちぎ米の販売拡大に尽力して参ります。



現場のニーズに合わせた 提案を

園芸資材課
生澤 愛(2022年入会)



園芸資材課では、青果物の段ボールや出荷包装資材の供給および野菜種子、優良苗の安定供給に取り組んでいます。

その中で私は、担当JAに向けた、段ボールやパック、フィルム、袋など出荷用資材を中心とした提案と供給に取り組んでいます。現在使用している資材に対する課題や要望など現場の声に耳を傾け、**より使いやすく品質の良い資材の提案**を行っています。

また、出荷資材の**コスト低減**と**環境配慮**型資材の拡大に向けた推進や、栃木県の青果物の魅力を発信するため、産地とちぎをアピールした新デザインの段ボール作成に現在取り組んでいます。

現場のニーズに合った資材の提案を心掛け、生産者手取り向上に努めていきます。



栃木県産
とちあいか



栃木を代表する品目“いちご”を含む果実、野菜、花きなどのブランド強化と販売拡大に努めるとともに、販促フェアや輸出の取り組み、生産者手取りの最大化・マーケットインに基づく契約的販売(買取販売・直接販売)を重点卸売市場及び実需者などと連携して取り組んでいます。また、低コスト・省力化・環境に対応した資材の普及拡大や、優良苗の安定供給を進めています。

各課の紹介

園芸総合課

県産花きの流通販売、精算業務

流通対策課

県産の野菜・果実の流通販売、生産振興

東京青果事務所

県産の野菜・果実の販売先推進

広域集出荷施設課

青果物広域集出荷施設の企画・運営

広域集出荷販売課

広域参画JA推進及び販売・青果物広域集出荷施設稼働へ向けた組織対応

園芸資材課

ビニールハウスや段ボールなど資材類の供給、種苗生産・供給



生産資材部

JA ZEN-NOH TOCHIGI

生産者の負担を減らすため、日々挑戦します

肥料農薬推進課
今野 智大(2022年入会)



私の所属する肥料農薬推進課は、営農に欠かせない肥料・農薬を取り扱う部門で、それらの**安定供給**のため、担当地区のJAに対する商品の提案などの業務を行っています。

私の具体的な業務としては、JA担当者と生産現場を訪れ、それぞれのニーズにあった商品を提案することです。各地区のJAと協力しつつ、生産現場が抱える多種多様な課題の解決に向けて取り組んでいます。そのほか、新規商品の開発普及に向けた試験や各種講習会などの企画を通じ、施肥・防除等の指導を行っています。

専門的な知識と様々な状況に柔軟に対応する力が求められますが、自身の提案した内容が生産者の力になれた時がやりがいにつながっています。

生産コストの低減、農作業の省力化を目指し、**生産者の手取り最大化**につなげられるよう、日々の業務に励んでいます。



JA ZEN-NOH TOCHIGI

栃木の和牛をさらに高みへ

畜産生産課
大野 佑太(2022年入会)



私が所属する畜産生産課では、主に子牛を扱う矢板家畜市場や子牛受託施設であるキャトルセンターの運営など、**生産基盤の維持・拡大**に取り組んでいます。

その中でも私は矢板家畜市場を担当しています。セリ名簿の作成や上場牛の管理など、生産者や購買者が安心して出荷・購買できるように責任をもって取り組んでいます。また、矢板市場が安全に運営できるように施設を管理するのも私の業務です。

牛の血統や損徴、疾病に関する幅広く深い知識や変化する情勢に対応する力が求められていると考えています。栃木の和牛をより良いものにしていくためにこれからも励んでいます。



畜産部

肉牛は、「とちぎ和牛」や「とちぎ霧降高原牛」、「日光高原牛」などの県産銘柄牛の販路拡大に向けた取り組みや消費宣伝活動を積極的に展開し、県産銘柄牛のブランド確立を目指しています。肉豚は「とちぎゆめポーク」を県産ブランド豚として、地位の確立に努めています。また、生産面では矢板市場上場頭数の維持拡大や、キャトルセンターによる子牛頭数の確保を行い、生産基盤の確立に取り組んでいます。

各課の紹介

肉牛販売課

肉牛(とちぎ和牛・とちぎ霧降高原牛・日光高原牛等)の集荷・販売

食肉販売課

肉豚(とちぎゆめポーク等)の集荷・加工・販売

畜産生産課

矢板家畜市場、キャトルセンター、家畜診療所の運営



本会の円滑な事業運営のため、コンプライアンス・リスク管理体制の強化、本会の事業計画策定および目標に基づく進捗管理、資産管理などに取り組むほか、人材育成に関わる研修の実施や勤怠管理、広報活動を行っています。また、JAの経営基盤確立・強化に向けた取り組み支援も進めています。物流部門では、物流コストの抑制と生産資材の安定的な戸配送を目的として県域物流を運営しています。さらに一級建築士事務所を設置した施設部門では、農業施設の建設、提案を進めています。

各課の紹介

コンプライアンス推進課

コンプライアンスにかかわる業務

企画管理課

経営企画管理業務、経理業務、広報業務

総務課

人事、総務、管財にかかわる業務

総合支援課

JAの経営基盤確立・強化に向けた支援

物流対策課

県域物流運営管理、関連システムの維持管理

施設住宅課

農業施設の建設や農住事業の展開



栃木県の農業と生産者のために

企画管理課
田中 美宇(2022年入会)



私が所属する企画管理課では、事業の進捗状況の確認や分析、計画の策定などを通じて経営状況を把握する経営管理業務、適切な収支管理を行う経理業務、販売力強化・消費拡大に向けて情報発信を行う広報業務と大きく分けて3つの業務を担っています。

その中で、私は広報担当として、毎月発行の広報誌「全農とちぎ通信」や事業案内の作成、ホームページ管理運営、メディアへの情報発信、それらに伴う各種イベントや取り組みの取材対応などを行っています。漏れのない**正確な情報発信・PR**を行うため、職員一人ひとりとのコミュニケーションを大切に、**各部門の取り組み状況の把握や情報収集**に励んでいます。

組織イメージに直接結びつく業務のため、日々重みや責任を感じておりますが、各部門の一助となれるようこれからも尽力していきます。



地域の皆様の暮らしに寄り添います

栃木推進課
田中 港(2021年入会)



私が所属するくらし支援部東日本生活事業所栃木推進課では、地域の活性化促進のため、県内10JAの直売所等を通じ、安心・安全な「**エコープマーク品**」等の食品や生活必需品の供給、および毎日の夕食の献立をお届けする「**JAふれあい食材**」の企画・運営を行っています。

その中で私は、組織購買事業（組合員向け商品のJAへの供給）の受発注業務や物流管理、在庫管理を行っています。今年度からは主力商品の「エコープ銘茶（新茶）」を担当しています。JAグループが半世紀にわたって手掛ける高品質なお茶の仕入れから、組合員の方々のもとへ届くまでの流れを管理しており、責任も伴いますが大変やりがいのある業務です。

正確な在庫管理とスムーズな受発注を心掛け、**地域の皆様に必要とされるサービスを提供**できるよう、日々責任感を持って業務に励んでいます。



生活事業では組合員をはじめ地域の皆様の暮らしに必要な生活用品を提供しています。食品を主とした「エコープマーク品」は“安全で健康を守る”をコンセプトに開発されたJAグループ独自のブランド品で、多くの皆様にご愛顧頂いています。また、安心・安全・新鮮をモットーとした、食材宅配サービス「JAふれあい食材」の提供を行っています。

各課の紹介

栃木推進課

エコープマーク品等の供給、食材宅配にかかる企画・仕入・供給、食材宅配の推進業務、食材センターの管理・運営



概要

名 称	全国農業協同組合連合会栃木県本部
略 称	全農栃木県本部
愛 称	JA全農とちぎ
住 所	〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地9番地25
電話番号	028-616-8800(代)
設 立	平成13年4月1日

あゆみ

昭和22年(1947年)	農業協同組合法施行
昭和23年(1948年)	栃木県購買農業協同組合連合会(県購連)設立
昭和23年(1948年)	栃木県販売農業協同組合連合会(県販連)設立
昭和27年(1952年)	県購連と県販連が合併し、栃木県経済農業協同組合連合会(JA栃木経済連)設立
平成13年(2001年)	JA栃木経済連とJA全農が統合し、全国農業協同組合連合会栃木県本部(JA全農とちぎ)誕生
平成28年(2016年)	栃木県本部事務所を現住所(宇都宮市平出工業団地)に移転

令和5年度
機構図



※総合物流センターはR5.9～稼働(移転)予定

連絡先一覧

管理部

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25

コンプライアンス推進課	☎028-616-8803	FAX 028-616-8808
企画管理課	☎028-616-8804	FAX 028-616-8808
総務課	☎028-616-8800	FAX 028-616-8808
総務支援課	☎028-616-8807	FAX 028-616-8808
合同物流センター	☎028-616-8812	FAX 028-616-8808
施設対住課	☎028-616-8856	FAX 028-616-8860

〒321-0414 宇都宮市中里町362-2

総合物流センター	☎028-678-3092	FAX 028-678-3093
----------	---------------	------------------

※令和5年9月より稼働(移転)予定

営業販売企画部

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25
 総合販売企画課 ☎028-616-8805 FAX 028-616-8819
 担い手支援課 ☎028-616-8838 FAX 028-616-8819
 〒321-4546 真岡市砂ヶ原1293
 いちごゆめファーム

米麦部

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25

米穀課	☎028-616-8820	FAX 028-616-8828
小麦総合課	☎028-616-8821	FAX 028-616-8828
農産課	☎028-616-8824	FAX 028-616-8829
検査協会	☎028-616-8822	FAX 028-616-8828

〒329-1579 矢板市こぶし台2-1
とちぎ米広域集出荷センター

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-17-11 榮葉ビル4階

米穀課東京事務所	☎03-3518-9807	FAX 03-5280-6868
----------	---------------	------------------

パールライス部

〒321-3325 芳賀郡芳賀町芳賀台198-2

パールライス販売課	☎028-680-4334	FAX 028-677-4787
パールライス業務課	☎028-677-4661	FAX 028-677-4787
パールライス製造課	☎028-611-4600	FAX 028-677-4787

園芸部

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25

園芸総合課	☎028-616-8831	FAX 028-616-8837
流通対合課	☎028-616-8832	FAX 028-616-8837
広域集出荷施設課	☎028-616-8833	FAX 028-616-8837
広域出荷販売課	☎028-616-8890	FAX 028-616-8837
園芸芸資材課	☎028-616-8834	FAX 028-616-8835

〒321-2118 宇都宮市新里町丁字神鳥1655-1

園芸種苗総合センター	☎028-665-7944	FAX 028-665-7947
------------	---------------	------------------

〒143-0001 東京都大田区東海3-2-1 大田市場事務棟4階

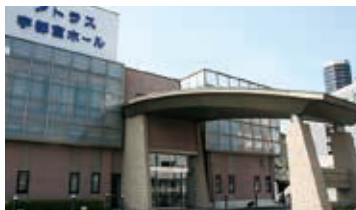
東京青果事務所	☎03-5492-5341	FAX 03-5492-5346
---------	---------------	------------------

子会社



株式会社JAグリーンとちぎ

〒329-1105 宇都宮市中岡本町2713-1
☎028-671-8866
肥料・資材の生産・加工から農畜産物などの流通全般までを担う地域密着型の総合企業です。



株式会社ジェイエイ栃木ライフ

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地26-4
☎028-660-3300
アトラスホールを中心としたJ Aの総合
葬祭サービス会社です。

生産資材部

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25

肥料農薬課	☎028-616-8840	FAX 028-616-8847
肥料農業推進課	☎028-616-8840	FAX 028-616-8847
農業機械課	☎028-616-8842	FAX 028-616-8849
農機一体運営課	☎028-616-8843	FAX 028-616-8849

〒321-4325 真岡市田町1356-1

はが野広域農機センター ☎0285-83-8025 FAX 0285-84-4911

〒328-0002 栃木市惣社町1485-12

しもつけ広域農機センター ☎0282-29-7033 FAX 0282-29-6377

〒321-0604 那須烏山市中山550-1

なす南広域農機センター ☎0287-82-0055 FAX 0287-82-0011

〒323-0053 小山市大字小袋170-2

おやま広域農機センター ☎0285-38-2029 FAX 0285-38-2032

〒329-1301 さくら市箱森新田589-1

しおのや広域農機センター ☎028-612-3420 FAX 028-612-3421

〒321-0901 宇都宮市平出町3565-1

うつのみや広域農機センター ☎028-663-2651 FAX 028-663-2720

畜産部

〒321-3303 芳賀郡芳賀町稲毛田1921-7
肉牛販売課 ☎028-689-9033 FAX 028-689-9020
食肉販売課 ☎028-689-9022 FAX 028-689-9020
ミートセンター ☎028-689-9022 FAX 028-689-9020
アウトバックセンター ☎028-689-9022 FAX 028-689-9020

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地9-25
畜産生産課 ☎028-616-8851 FAX 028-616-8854

〒324-0492 大田原市湯津上5-1068
キャトルセンター

〒329-1573 矢板市越畑明神前328-1
矢板家畜市場 ☎0287-48-0350 FAX 0287-48-1509

〒108-0075 東京都港区港南2-3-26 モンデー×品川3階301号室
東京畜産事務所 ☎03-3471-6006 FAX 03-3471-5880

生活事業

〒321-0905 宇都宮市平出工業団地26-4
栃木推進課 ☎028-616-8855 FAX 028-616-8859

関連会社



株式会社JAエルサポート

〒321-0111 宇都宮市川田町1033-2
☎028-633-4800
ガス事業・石油事業・建設事業を通じて、
組合員・消費者の快適な生活を支援する
総合サービス会社です。